

図面品質・設計品質向上のための 幾何公差の基礎と実務ポイント

日時
2018年 5月29日 (火)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

遠方からもご参加しやすいよう開始を10:30に設定しております。

税込受講料

1名 49,680円
2名以上1名 46,440円

本セミナーでは、その設計図面に必要不可欠となっている幾何公差の基本を詳しい解説と豊富な演習で理解を深めます。

講師著「設計力」こそが品質を決める ~ デンソー品質を支えるもう一つの力 ~ (日刊工業新聞社) を副教材として当日配布します。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

< お申込要項 >

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師

寺倉 修氏 株式会社ワールドテック 代表取締役社長
元(株)デンソー

- . G P S (Geometrical Product Specifications) と国際動向
 - . 幾何公差の狙い
 - . 幾何公差域と特性
 - 1. 公差域の決め方 2. 公差域の種類 3. 幾何公差特性の種類
 - . データム
 - 1. データムとは 2. データムの確率法 3. データムの図示法
 - 4. データムターゲット
 - . 幾何公差
 - 1. 図示法
 - 2. 幾何公差の定義および図示指示法
 - (1) 形状公差 (2) 姿勢公差 (3) 位置公差 (4) 振れ公差
 - 3. 幾何公差と寸法公差
 - . 最大実体・最小実体公差方式
 - 1. 包絡の条件 2. 最大実体・最小実体公差方式の定義
 - 3. 最大実体公差方式の解釈
 - 4. ゼロ位置度
 - 5. 最小実体公差方式の解釈
 - 6. 突出公差域
 - . 幾何公差の勘どころ
- 演習の為、電卓をご持参ください。
- 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 幾何公差の基礎と実務ポイント

セミナーコード

1101-180529

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/5/29 ISS

社名	所在地	〒		電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス		-
				FAX	()
					-
窓口部署				お支払予定	当日持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他					